

令和6年度 第1回 学校関係者評価委員による主な意見および今後の手立て

岐阜県立下呂看護専門学校

評価項目	評価項目ごとの意見	意見に対する今後の手立て
I 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンや組織目標が明確で、その達成に向け取り組みがなされている。 ・定期的な評価や見直しをし、教職員と共有がなされている。 ・管理職のリーダーシップのもと、教職員が一丸となって組織目標の達成及び課題の改善に向けて取り組みが行われている。また、新たな課題や継続的に取り組むべき内容についても明確であり、引き続き改善のための取り組みが期待できる。 ・目標達成に向けて取り組める組織体制になっている。 ・この地域唯一の看護専門学校なので今後も学生確保に努められ健全な学校運営に努められたい。 ・不測の事案が起こったが、校長先生を中心に教員他職員が一体となって、問題解決に取り組まれたと思う。 ・重大な事案があり、先生方も悩まれたことと思うが、入学生確保にも影響する事案であるため、再発防止への取り組みを継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営上の課題は速やかに教職員で共有し、課題解決に向け対応する。特に、自死の再発防止に向けた取り組みを確実に行う。
II 学科運営	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの評価や検討、学生へのアンケートなどを実施し、改善に努めている。 ・新カリキュラムの運営にあたり、新たな取り組みを様々取り入れ、教育の質向上に向けての努力が伺える。また、実習については、指導体制整備のため実習施設への働きかけも行われており、学校と実習施設との連携が図られている。 ・新カリキュラムは今年度で3年目を迎えるため、委員会を中心に適切に評価を行っていただきたい。そのためには、学生の授業評価は重要なデータとなるため、回答率低下が改善できるよう工夫をされるとよい。 ・学生による授業評価の方法を改善して、回答率を高めようと考えてみえることがわかった。学生の意見を今後も大切にしてほしい。 ・授業方法を工夫され、学生が体験・実感できる内容で、効果が期待できると感じた。 ・授業評価をLoGoフォーム変更したことで、回答率が低下したようだが、学生の評価は改善につながる指標なので、回答率が確保できるとよい。 ・学生による授業評価や卒業生へのアンケートなどを通し、よく考案・課題の明確化ができていていると思う。 ・体験を取り入れた学習はとても良いと思う。また実感したことが根拠に裏付けられることで、違う場面においても自分で考えることに繋がると思われる。地域の人達と関わることは、入学対策や地域貢献、地域活動にもつながることと思う。 ・「看護実践能力自己評価に関するアンケート」の中（P40）で、その他11の項目で「相談できる相手」の教員がポイント上昇していることから先生方が学生に寄り添っておられることがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新カリキュラム導入3年目となり、カリキュラム評価（教育目的・教育目標・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに対し）を実施していく。 ディプロマポリシーに対しては、段階別評価表を作成し、各学年での到達度を明らかにしていく。 また、授業評価の回収率を高めるために、授業評価を実施する目的を改めて確認し、学生に理解できるよう説明する。現在、回収方法を見直し実施しているため効果を評価する。
III 入学・卒業 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者を増やそうと努力してみえる。今後も様々な取組で増えることを期待する。 ・入学生の減少はどの学校でも課題だが、学校として入学生確保のための様々な取り組みが行われている。引き続き工夫していただき、少しでも多くの入学生の確保ができるとよい。 ・入学者が減少した事で危機感を感じているが、さらに学校の良さを伝えていただき、地元など県内の学生への働きかけを行ってほしい。 ・学生の確保については、努力してみえるが定員に達していないので継続して取り組んで欲しい。また、寄宿舍が完備していることが強みである点を強調して欲しい。 ・大学進学者が増える中、学生確保は困難が伴う課題だと思う。しかし「県立であること」や「専門学校だからこそ」の利点をアピールし、学生確保に努めていただきたい。（母校だからこそ頑張ってもらいたい！） ・国家試験合格100%を目指し頑張ってもらいたい。 ・国家試験に不合格の卒業生に対して何らかの支援をしていただきたい。（寄宿舍を利用した試験対策合宿等）そういった取り組みが長い目で見れば入学者の増加につながるのではないか。 ・卒業生対策としては、県内就職率も高く、また卒業後の支援も行われている。引き続き卒業生が相談しやすい環境を整え、卒業生の離職防止につなげていただきたい。 ・就職支援では、自分の適性についての不安があったが、自己分析など実施し、就職先選定の指標として支援ができればいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は入学生確保を組織目標に掲げ、教職員一丸となり、進学ガイダンス、オープンキャンパス、高等学校訪問等を行っている。さらに、下呂市・実習病院との連携や小中学校への出前授業等を行い、本校の特徴や看護職についてアピールし入学生確保や看護職確保に繋げる。 ・国家試験全員合格を目指し、模擬試験、支援担当教員による支援、WEBを活用した学習支援システムの導入など行っている。また、国家試験不合格者に対して、模擬試験の案内や国家試験手続き等の情報提供を行い、今年度の合格に向け支援する。 ・卒業生の就業支援や離職防止に繋がるよう、気軽に母校に来校し近況報告や相談ができる環境を整える。

<p>IV 学生生活への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援やストレスチェック、スクールカウンセラーとの相談など、様々な取組が行われている。 ・学生の意見を広く取り入れるために様々なアンケートを実施し、学生の学業、生活面及び健康面に対して必要な支援に取り組んでいる。特に、健康面に対しては、滞在化している問題を少しでも気付けるようスクールカウンセラーと連携し、学校全体で学生の支援に努めていることは評価できる。 ・アンケート調査等学生の意見を受け止め真摯に対応している。スクールカウンセラーや教員が学生に寄り添って問題解決に取り組んでいると思う。今後も継続を願う。縦割り交流活動はコミュニケーション能力、社会人基礎力の向上などに活かされると思うため積極的に実施されると良いと感じる。 ・就職支援アンケートの結果に、2年生と3年生で結構違いがあることが興味深い。 ・就職希望病院等の雰囲気や詳細な業務内容などは、なかなかHPでは掴めないが、実際が一番知りたいところでもあると思う。自分の想像と乖離が大きいほど早期離職にもつながるため、現場の声がわかるような情報提供、支援があると良い。 ・学業、経済事情、友人関係等様々なストレスを感じている生徒がありストレス増に繋がる可能性が考えられるので早めの相談等支援が必要と感じた。 ・睡眠時間が少ないことが気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーがより身近な存在となるよう、来校時の校内巡視やストレスチェックの結果返却を依頼している。スクールカウンセラーの利用については、引き続き教員が気掛かりな学生に声を掛け、相談にのる中で利用を後押し支援に繋げられるようにする。また、職員向けの研修や、適宜ケース相談など教員の対応スキル向上に向けた取り組みも行い、多角的な学生支援を行う。 ・睡眠時間については、特に臨地実習中が課題となるため、実習中の睡眠時間を毎日把握している。現在、実習の事前学習や実習記録など学習方法を再考中である。 ・就職支援については卒業生と語る会や業者の説明会、個別相談を受けているが、就職病院選択段階での悩みが多い様子である。既存の支援内容・方法を再考し、学生にとってより有意義なものとなるようにする。
<p>V 教職員の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修や授業研究を行い、指導力の向上に努力されている。 ・教員の質向上や経験の少ない教員への支援対策として、ペア制を導入するなど教員育成のため、様々な取り組みが進められている。ペア制については肯定的な意見が少なかったという事だが、課題を明確にし改善に繋がれば効果が期待できると考える。 ・学校授業参観日の継続。 ・ペア体制を再構成して今後も実施されるとよい。 ・多忙な中、全教員の研修受講、またその伝達講習と積極的に取り組まれていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員ペア制については、教員ペアの組み方が複雑であったことや全科目を支援する形になっており支援が効果的に行えなかった面があった。今年度は教員ペアの構成と支援する範囲を見直した。業務状況に左右される場合もあると思われるが、お互いに高め合い、成長し合える職場風土を作り、取り組んでいきたい。
<p>VI 管理運営 ・財政</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の策定や執行、危機管理が計画的に行われている。 ・限られた予算の範囲内で、学生の環境改善のため計画的に執行されている。また、地域柄、自然災害に見舞われる状況も少なくないため、学校の特徴を踏まえた危機管理対策を実施していることは評価できる。 ・適正だと思う。 ・《VIとVIIあわせて》 → 計画的に予算管理、執行され、年々環境整備がされており、学生にとってはもちろん、職員にとっても学校生活の質が向上しているのが目に見えてわかります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、計画的な予算の策定、予算執行を行うとともに、防災マニュアルに基づく対応を行い、学生・教職員の安全を確保する。
<p>VII 施設設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や職員が生活しやすい学校として施設の改善が進められている。 ・フリールームや多目的ルームの設置が良いと思った。 ・既存の施設設備に対して、学生の意見や実態を踏まえ、少しでも学生及び教職員が生活しやすい環境を整えるため、工夫しながら整備が進められている。学校施設、設備に対する学生のアンケート結果から、8割以上の人が「満足」「やや満足」と回答しており、学生からも評価されていると言える。 ・学生の意見も取り入れトイレを洋式化されたのは評価できる。今後も学生・教職員が協力しながら愛着がわく学校にしていって欲しい。 ・トイレの改修、手すり設置他とても良い環境に整備されていた。 ・ICT機器は、必要なアイテムなので整備が行えるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備に対しては、定期的に学生、職員から意見をきき、改善に向けて取組む。 ・ICT機器に関しては、県と連携し環境を整えていく。

<p>VIII 広報 社会貢献 地域活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動や社会貢献、地域活動などは実施されている。さらに積極的に工夫した活動をする事は、入学者を増やすことにもつながると思う。 ・ 地域全体で地域の健康について現状を共有できるような話し合う場がもてると良い。学生の確保につながることを期待したい。 ・ 学校のPRや地域貢献のため、様々な取り組みが実践されている。特に、地域の特徴を活かし、ケーブルテレビに協力したり、実習病院と共同で地元中学校への学校紹介を行うなど、新たな取り組みも加えながら努力している。 ・ 社会福祉協議会のイベント等への協力、共同募金の取り組みありがとうございました。 ・ ホームページ閲覧しやすいように工夫されているが、動画があるとネット世代の方々には情報が届きやすいかもしれない。 ・ 小中学生へ看護職に興味を持ってもらえるように、働きかけを継続して欲しい。 ・ 中学生の娘が「看護学校の先生と、医師が話しをしに来てくれた。おもしろかったし興味深かった。」と言っていた。「まめなかな」も見た。HPだけでなく、アピールの場が広がっているため、学生確保につながってくれることを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は現時点でボランティアの要請が5件ある。学生が地域の現状を知り、見識を深める貴重な機会でもある。学生の内発的動機付けを高め、学生としての社会貢献ができるよう支援する。 ・ HPで学生生活の様子を紹介、小中学校への訪問、下呂市と共同して情報発信を行うことで、本校に興味を持ってもらえるよう工夫する。
<p>IX 独自項目 寄宿舎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄宿舎の運営について、現状に合わせた運営方法を考えていて良いと思った。 ・ 寄宿舎は学生にとっては3年間暮らす生活の場になるため、管理や運用においては様々な課題が生じる。学校として学生が安全で安心して生活できる環境を提供するため、寄宿舎の防災訓練を実施するなど、独自の取り組みを実践している。入寮生へのアンケート結果からも、「満足」「やや満足」の回答率が大きく上昇しており、学生の意見を反映させたルールの運用も効果があったと考えられる。 ・ 入寮する生徒数にもよるが引き続き個室が継続されると良い。 ・ 学生の意見では、Wi-Fiの整備、夜間の冷暖房の整備が上がっているのも、環境整備としては検討されるとよい。 ・ この意見ではないかもしれないが、男性に向けての寄宿舎の整備も検討されたい。 ・ 1年生がどうしても「制限されている、我慢している」と感じるようになってしまっているのはある程度は仕方ない部分もあると思う。「生活上のルールは学生が決める」となったことで、1年生がコミュニケーションを取り合い、1つでも不満が解消されると良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ WiFiの整備については、現状に合わせて運営方法を検討する。 ・ 冷暖房については、使用時間の延長などを検討する。 ・ 男性に向けての寄宿舎整備については、現在の寄宿舎での対応は運営管理上の観点から難しい状況である。 ・ 1～3年生の学生が公平に安心・安全に生活できるように話し合いのサポートや支援を行う。